

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	小児体幹部外傷に対する血管内塞栓術の術中管理に関する安全性と有効性の検討 (B24-168)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部救命救急医学 助教 大井 真里奈
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背 景・目的	交通事故による死亡は年々減少傾向にあるものの、小児の死亡原因の約10%を占めるとされています。外傷による死亡原因のほとんどが出血性ショックであり、いかに出血をコントロールできるかが重要です。成人の場合、近年はより侵襲の少ない血管内治療が止血術の第一選択となっており、小児においても血管内治療が選択されることが増えてきました。しかし、体格や理解力の違いから血管内治療中の管理方法については、成人同様に局所麻酔のみで良いのかという議論があり、結論が出ていません。そこで、当院で過去に血管内治療を受けた小児外傷患者さんを対象として血管内治療中の管理方法と手技成功率や合併症発症率の関連性を検討し、より適切な管理について模索することが本研究の目的です。
調査データ 該当期間	2007 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に体幹部の外傷で当院に入院され、血管内治療を受けた 15 歳未満の患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2007 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までのまでの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学救命救急医学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：北里大学医学部救命救急医学 助教

担 当 者：大井 真里奈（オオイ マリナ）

電 話：042-778-8111